



音楽実習室とグランドピアノ

コミュニケーション・プラザ音楽実習室は、東京大学として初めて作られた本格的な音楽練習室です。学生音楽団体の意見を取り入れながら、コンサートホール並の音響設計を施したもので、昨年4月に完成し、終日学生が利用しています。本演奏で使用されるグランドピアノ[スタインウェイ&サンズ社(ドイツ製)のフルコンサートモデルD-274]は、本学における音楽活動の一層の発展を願って、昨年9月に導入されたものです。これを用いて、すでに、小山実稚恵氏ら世界的なピアニストによる演奏会や、オーディションによって選抜された学生による演奏会が開催されています。このほか、教養学部にはパイプオルガンも設置されており(森オルガン、900番教室)、定期的に行われる演奏会は、本学学生だけでなく、広く市民の方々からも愛されています。

東京大学オープンキャンパス(駒場地区)

学生名手による特別演奏会

2007年8月2日(木) 11時

コミュニケーション・プラザ北館2階 音楽実習室

ピアノ：高雄 有希

チェロ：磯野 太佑

主催：東京大学大学院総合文化研究科・教養学部ピアノ委員会
駒場友の会



プログラム

ピアノ独奏

- G・フォーレ 夜想曲 第13番 変口短調 op.119
 C・A・ドビュッシー 前奏曲集 第1巻 より
 沈める寺
 西風の見たもの

チェロとピアノの二重奏

- C・F・グノー アヴェ・マリア
 D・D・ショスタコーヴィッチ
 チェロ・ソナタ 二短調 op.40 より 第3楽章
 C・サン＝サーンス 『動物の謝肉祭』より「白鳥」
 P・T・チャイコフスキー 感傷的なワルツ op.51-6

*** 休憩 ***

ピアノ独奏

- S・V・ラフマニノフ 音の絵 op.39-5 変ホ短調
 S・S・プロコフィエフ ピアノソナタ 第7番 変口長調 op.83



高雄有希 (たかお ゆうき)

1977年福岡市生まれ。幼児期を父親の仕事の関係でアメリカで過ごす。15才でリュウベック音楽大学に入学。バルマドーロ国際コンクール最年少15才金メダル受賞。第6回シドニー国際ピアノコンクール最年少18才2位(聴衆賞1位)受賞。ヨーロッパ、アメリカ、オーストラリアの演奏会で毎回絶賛を博す。シドニー・オペラハウスのコンサートでは2800席のチケット完売、熱狂的な当夜の模様をABCがライブ放送。また、ハリウッドボールにおけるロサンゼルス・フィルとのコンチェルトに、およそ1万7千の聴衆が熱狂する。ドイツ・ポッフムのソロリサイタルでは「鍵盤の奇蹟」「巨匠の後継者である若きピアニスト」(ヴェストドイチェ・アルゲマイネ・ツァイトゥング紙)と最大の賛辞を得る。各国文化省と日本大使館の招聘(国際交流基金の後援)で行われた中米グアテマラ、ドミニカ共和国、北アフリカ・アルジェリアでの国立交響楽団との共演とソロリサイタルは、すべての演奏会でチケットが完売し聴立ちの喚声でホール中が熱狂する。現在、東京大学文学部南欧文学科3年生。

磯野太佑 (いその たいすけ)



1984年東京生まれ。7歳よりチェロを、桐朋学園子供のための音楽教室にて音川健二氏より学び、崎野敏明、荻田雅治、岩崎洸の各氏に師事。第11回全日本ソリストコンテスト高校の部優秀賞(優勝)(2001年)、第3回日本演奏家コンクール弦楽部門高校の部芸術賞受賞(2001年)。第14回日本クラシック音楽コンクール大学の部全国大会入選(2004年)。第10回JILA音楽コンクール弦楽部門第2位(2005年)。2005年および2007年には、東京大学教養学部オルガン演奏会で、グレゴリー・ダゴスティノーと室内楽を共演。現在、東京大学経済学部4年生。